

2016年12月9日(金)～11日(日)

ATACカンファレンス 2016 京都 開催のお知らせ

ATACカンファレンスは「テクノロジー」と「コミュニケーション」をキーワードに、社会の中で困難さを抱える人たちを支援する技術と考え方を多くの人と共有するために1996年から毎年開催されています。今年は更に先を見つめ、これまでの内容に加えて、その技術を活用して人が幸せに「学ぶ・働く・暮らす」生き方の創造・社会の意識の変革・制度の整備にまで踏み込んで、福祉や教育分野以外の幅広いみなさんと共に考える機会も企画したいと思います。セミナーでは、現場ですぐに役立つ技術や、それを生かすために必要な考え方を専門家が分かりやすくお話しします。

詳細・お申し込みは、ホームページを参照ください。 www.atac-lab.com

【日 程】 2016年12月9日(金)～12月11日(日)

12月9日(金) 9:30～16:30 (受付開始9:00) Academic Day

12月10日(土) 9:20～16:20 (受付開始9:00) Gathering Day

17:00～18:30 イブニングセッション

12月11日(日) 9:00～16:00 (受付開始8:30) Practical Day

【会 場】 国立京都国際会館 〒606-0001 京都市左京区宝ヶ池

【主 催】 株式会社 atacLab



ATACカンファレンス事務局

株式会社 atacLab / エイタックラボ

〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-28 グラスシティ渋谷6F

Tel : 03-4360-5078 / Fax : 03-5309-2088

e-mail : seminar@atac-lab.com URL : <http://atac-lab.com>

今年のATACカンファレンス テーマ「デザインする」

「デザイン(設計)」は、物に対しても、人に対しても、組織や社会に対しても幅広く当てはまる考え方や実践のあり方です。ところが、意匠デザインや造形デザインなど物に対するデザインを意識する事はあっても、人や組織をデザインするといった議論は普段の生活の中であまり聞きません。

物に対するデザインは比較的自由です。一方、人に対するデザイン(教育・リハビリテーション)は1つの方向性を持っています。多くの人と同じ事が出来るようにすることが教育であり、その事が将来の生き易さに結びつくと考えられています。人々が属する社会や組織は法律や制度によって決められており、その社会や組織をもう一度デザインし直す事は容易ではありません。そこで多く人は、社会や制度を変えようとするよりも人をデザインする方が容易だと考えるでしょう。

しかし、全ての人を同じ方向にデザインすることは出来ません。テクノロジーで補償しても、医療技術で治療しても、それは困難です。仮に可能になったとしてもその行為は多様性を奪い、同じグループの中での競争をさらに激化させていくだけでしょう。これまでデザインされてきた人も、その個性を隠し、ストレスを感じながら生きているに違いありません。それが社会性であり常識であると誰もが信じて疑いませんが、人をデザインするプロセスの中でどんどん人間らしさが失われていくように感じます。

人の個性や認知特性を活かしながら学べる・暮らせる・働ける場とは何かについて、今年のATACカンファレンスは「デザイン」という言葉を切り口に議論してみたいと思います。

●12月9日(金) Academic Day : 実践研究通じて、日々の取り組みを考える

●12月10日(土) Gathering Day 皆で集まりこれからの社会を議論し、整理する

- 「学びの意欲を失った子どもたちが料理で再び学び始める仕組みとは」
 福本 理恵 (異才発掘プロジェクト ROCKET プロジェクトリーダー)
- 「超短時間雇用という新しい働き方のデザイン」
 近藤 武夫 (東京大学先端科学技術研究センター 准教授)
- 「プロデュースする力 -作品を生かす場・人を生かす場のデザイン-」
 鈴木 康広 (武蔵野美術大学 准教授/アーティスト)・中邑 賢龍
- 「常識を覆すデザインのあり方 -透明人間は作れるのか-」
 稲見 昌彦 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)
- 「紙でロボットを作り、貧困社会の教育を変える」
 西山 浩平 (株式会社 CUUSOO SYSTEM 代表取締役)
- 「産業医からみた学校や会社のデザイン」
 三宅 琢 (株式会社 Studio Gift Hands 代表取締役/産業医/眼科専門医)
- 「社会をデザインできる社会へ」
 中邑 賢龍 (東京大学先端科学技術研究センター 教授) 他

●12月11日(日) Practical Day 実用的知識や考えを身につける 定員制・事前登録制

※当コースは、特別支援教育士 (S.E.N.S)、特別支援教育士スーパーバイザー (S.E.N.S-SV) 資格更新のためのポイント (1P) として認定されます。

9:00-11:00 モーニングセッション

- ※(1) 「LD・ADHD など生きにくさを抱えた人たちの学び・働きと合理的配慮」
 (2) 「あなたが明日から四肢マヒになったら、どのように生活をリデザインしますか？」
 (3) 「医者や薬とどう付き合うべきか？」
 (4) 「子どもに適する教材・環境作りに徹底的にこだわってみる」
 (5) 「ゲーム漬けの子どものリハビリテーション」
 (6) 「ユニークな子どもの学び方 -異才発掘プロジェクト ROCKET を通じて-」
 (7) 「当事者の語り -ユニークな生き方から学ぶ生き方-」

13:00-16:00 アフタヌーンセッション

- ※(8) 「読み書き障害の診断とテクノロジーを用いた支援」
 (9) 「貧困と生活困窮者のライフサポートから学ぶ -社会の現状とこれからの生活-」
 (10) 「最新のアルテックが我々の能力を高める社会とは? -デモを通じて考える未来の学習・生活-」
 (11) 「知的障害や自閉症の人とのシンボルコミュニケーション」
 (12) 「黙って観るコミュニケーション -重度知的障害や重複障害の人の気持ちを理解する方法-」
 (13) 「意欲を失った勉強嫌いの子どもへのアプローチ」
 (14) 「親の気持ちを共感的に理解するには?」

●参加費

参加日	11/1以降のお申し込み
12月09日(金) : Academic Day ◆ 実践研究を通じて、日々の取り組みを考える	10,000 円
12月10日(土) : Gathering Day ◆ 皆で集まりこれからの社会を議論し、整理する	12,000 円
12月11日(日) : Practical Day ◆ 実用的知識や考えを身につける	午前 (モーニングセッション) のみ 6,000 円 午後 (アフタヌーンセッション) のみ 6,000 円 一日 10,000 円
12月10日(土) : Gathering Day 12月11日(日) : Practical Day 両日参加	18,000 円

詳細・お申し込みは、ホームページを参照ください。

www.atac-lab.com